

第28回学術集会プログラム

「生物化学的測定技術の利用」

生物化学的測定法には、抗原と抗体の反応を利用して抗原あるいは抗体を検出・定量する免疫測定法や生物検定法（バイオアッセイ）が含まれます。目的とする対象物質の測定において、重要な利点として高感度、高い特異性および迅速性が挙げられます。さらに、その技術が簡便であり、短時間で多くの検体を処理できるとなれば申し分ないことです。これらのことから、生物化学的測定法が多方面で利用されています。測定対象は、低分子から高分子で幅広く適用できることもあり、その利用が絶えることはないと思われます。

本学術集会では、現状における生物化学的測定法の実例として、食品の安全性確保に関する3題と精神疾患に関する1題を紹介し、今後さらなる活用への道筋を辿りたいと考えます。

■期日：2023年（令和5年）6月2日（金） 13:00～17:20（受付 12:40～）

■会場： 東京農業大学世田谷キャンパス
農大サイエンスポート 8F「Air Bridge」

■オーガナイザー：坂 真智子（株式会社エスコ 代表取締役社長）

■プログラム

13:00-13:20 総会

第一部（座長：三宅 司郎（麻布大学生命・環境科学部 教授））

13:20-14:10 追悼講演「抗体工学が拓く次世代のイムノセンシングー上田 宏先生の偉業を讃えてー」
小林 典裕（神戸薬科大学 特別教授）

14:10-14:20 休憩

第二部（座長：坂 真智子（株式会社エスコ 代表取締役社長））

14:20-15:00 講演1「畜水産食品中残留動物用抗菌剤の生物学的測定法
～微生物を用いた測定によるスクリーニングと LC-MS/MS の併用～」
神田 真軌（東京都健康安全研究センター 食品化学部 副参事研究員）

15:00-15:40 講演2「トリコテセン系 カビ毒 DON と NIV の抗体調製と ELISA」
三宅 司郎（麻布大学 生命・環境科学部 教授）

15:40-16:20 講演3「食物アレルギーを含む食品の検査方法について」
油谷 賢一（株式会社 森永生科学研究所）

16:20-17:00 講演4「精神疾患(うつ病/自閉症)関連因子における測定法の課題と ELISA キットの
開発
嶋田 直人（富士フイルム和光純薬株式会社 試薬化成品事業部 学術部 学術課）

17:00-17:15 総合討論

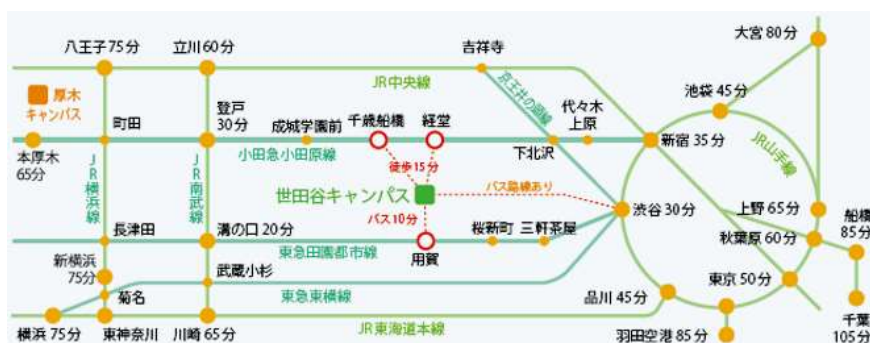
司会 坂 真智子（株式会社エスコ 代表取締役社長）

17:15-17:20 閉会の挨拶

次期会長（予定）

■参加費： 会員；3,000 円（要旨集込み）、非会員；5,000 円（要旨集込み）、
学生；無料（要旨集 2,000 円）
情報交換会；5,000 円（予定）

■会場案内／キャンパスマップ：〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1



問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：中村）

〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地

株式会社日吉内

TEL：0748-32-5001 FAX：0748-32-4192

E-mail：basi@hiyoshi-es.co.jp

HP：<http://www.basi.info>

参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (0748-32-4192)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 (basi@hiyoshi-es.co.jp)

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第28回学術集会の参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

情報交換会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

*参加費は当日受付でお支払い下さい